

# 営農技術情報

## 一畑作（大豆②）一

令和3年 5月14日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524  
JA道北なよろ TEL01655-3-2521  
JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

～除草剤散布により、生育初期の雑草を抑えましょう！～

### 除草剤の散布について

融雪の早かった風連では、は種作業が始まっています。は種作業からすでに日数が経っているほ場もありますが、除草剤の使用時期を確認し、散布遅れに注意しましょう。

#### ① 土壌処理剤（ビンサイド乳剤、フルミオWDG、フィールドスターP乳剤）

ほ場表面が乾いていると効果が低下します。土壌水分確保のため、は種後に鎮圧するとともに、降雨前もしくは、晴天が続く場合は夕方から早朝にかけて表層に「水上がり」の見られるタイミングを利用して散布を行うようにしましょう。

#### ② パワーガイザー液剤

土壌処理と雑草発生後の茎葉処理効果を併せ持つ除草剤です。大豆の出芽前に土壌処理ができなかった場合や、土壌処理剤の効果が不十分な場合にも散布可能です。

なお、初生葉（子葉の次に出てくる葉）抽出後は薬害が発生しますので、使用時期を守って散布しましょう。また、有機リン系殺虫剤またはイネ科雑草処理剤との10日以内の近接散布は、薬害の恐れがあるので避けましょう。展着剤は不要です。

表1 除草剤の使用法（令和3年度JA農作物施肥・病虫害・雑草防除ガイド掲載薬剤）

処理	除草剤名	対象雑草	使用時期	10a 使用量	回数
土壌	ビンサイド乳剤	シロザ タデ類	は種後2～5日 (雑草発生前)	330～ 400ml	1
	フルミオWDG	ハコベ	は種後出芽前 (雑草発生前)	5～10g	1
	フィールドスターP乳剤	一年生 イネ科	は種後出芽前 (雑草発生前)	75～ 120ml	1
土壌 茎葉	パワーガイザー液剤	シロザ タデ類 ハコベ	出芽直前～出芽揃 (雑草発生始期～発生揃期)	200～ 300ml	1

※10aあたり水量は100L。

※ビンサイド乳剤：高温乾燥時及び散布後高温が予想される場合薬害が出る恐れがあるので使用を避ける。

※フィールドスターP乳剤：散布直後の多量の降雨は薬害の恐れがあるので天候を見極めて散布する。

◎ 農薬は使用基準を守り、農薬飛散に注意しましょう ◎